

令和3年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	工業課	事業No.	202	
事務事業名		会計	一般会計			
		事業区分	政策	実施区分	継続	
		開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称		
	戦略計画		1	稼げ、安心して働ける「魅力ある産業」をつくる		
			2	飯田の魅力を発信し、つながる人を増やし、飯田市への人の流れをつくる		
	分野別計画	地域経済活性化プログラム				
法令・例規等						
事業目的		対象	製造業等を支える人材			
		意図	技術力・開発力・生産管理能力を高め、成長性の高い産業分野（航空機分野等）の集積化と既存産業の体質強化、高度化・高付加価値化を目指す			

2 事業内容

3年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	3年度取組	飯田産業技術大学事業は、新型コロナウイルス感染症対策を講じて企業を対象とした技術、経営、特別（シンポジウム含む）32講座を開催しました。スーパーサイエンス事業では「飛行機の不思議 模型飛行機づくり教室・S-BIRD見学会」を開催することができました。次世代人材を対象にものづくりの体験を行う場として3Dプリンター等を備えたデジタルものづくり工房「ファブスタ★」では機器講習や小中学生向けの体験講座を開催しました。信州大学航空機システム共同研究講座は、延長継続初年度となり、企業版ふるさと納税による寄付を活用し講座運営支援及び学生への奨学金及び引越費用の支援を行いました。		こども科学教室、スーパーサイエンス、JAXA連携事業等			735				
ファブスタ 講座開催事業						314					
信州大学航空機コンソーシアム負担金						3,900					
飯田産業技術大学事業負担金（中事業）						2,690					
信州大学電気機器関連制御技術社会人スキルアップ講座事業負担金						1,500					
				その他の経費		0					
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	次世代育成を目的とした講座参加者数	人	100	85							
	ファブスタ 利用者・受講者数	人	100	245							
	信州大学共同研究講座 学生数	人	11	11							
	信州大学社会人スキルアップ講座修了者数	人	10	10							
	飯田産業技術大学受講者数	人	800	1,015							
3年度決算(千円)	予算額	11,908	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	9,139	(そ) 工業振興寄附金								
	財源の状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	3,900								
一般財源	5,239										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	7	1	5	10	16	5,714	4,949	次世代を担う産業人材育成事業費
2	1	7	1	5	10	18	4,694	2,690	飯田産業技術大学事業費
3	1	7	1	5	10	28	1,500	1,500	ものづくり高度人材育成事業費
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		製造現場における技術・技能者及び管理者の研修による底上げや、急速に進むデジタル化への流れに対応するため、デジタル技術を活用し生産性向上などに取り組むための支援強化が必要となっています。次世代を担う人材育成の拠点としてデジタルものづくり工房「ファブスタ★」を活用し、大人から次世代を担う人材の育成に向け講座の開催等、企業と連携し取り組んでいく必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		飯田産業技術大学やデジタルものづくり工房「ファブスタ★」等による人材育成事業を強化・拡大するためには、地域内外の関連機関との連携と、引き続き人材育成コーディネーターの配置が必要です。							
次年度に向けての取り組み		次世代を担う人材の育成は、デジタルものづくり工房「ファブスタ★」の活用や、信州大学や周辺の学校と連携し講座等を開催します。企業対象の講座については、人材育成コーディネーターを中心に、地元企業のニーズを踏まえ技術講座、経営管理講座や中小企業大学校と連携した研修講座を開催します。							